

平成 30 年 6 月 20 日

私立短期大学

理事長 殿  
学長 殿  
図書館長 殿  
事務局長 殿  
教職員 殿

私立短期大学図書館協議会  
会長 齊藤 誠一

平成 30 年度

私立短期大学図書館協議会全国研修会の開催について（通知）

標記の研修会を別紙実施要領のとおり開催いたします。

今回の全国研修会は、「どこでも誰でもできる図書館利用教育」をテーマに実施いたします。

大学での図書館利用教育は、短期大学図書館関係者から活動が始まり、日本図書館協会の「図書館利用教育ガイドライン-大学図書館版-」が 1998 年に正式公表されて以来、急速に浸透し、教育効果の検証も行われ、情報化社会において必要不可欠な図書館活動として定着しております。しかし、先駆けにもかかわらず小規模館の多い短期大学図書館におきましては、厳しい予算の関係上、利用教育に必要なデータベースツールの導入がままならず、レファレンスツールの面で不利な状況にあり、消極的な姿勢も見られます。こうしたことから、小規模図書館でも実施できる有益な無料のデータベースツールを紹介するなど、新しい図書館利用教育のあり方を考える研修内容を企画しています。

ぜひとも多くの図書館関係教職員の皆様に参加していただきたいと考えています。

学務ご多忙の折とは存じますが、貴図書館および情報関係の教職員の皆様のご参加を賜りたくここにご通知申し上げます。

添付書類

- ・平成 30 年度「私立短期大学図書館協議会全国研修会」実施要領

参加申込締切期日 7 月 23 日（月）厳守

※北海道内におきましては、ホテル等の宿泊施設の確保が困難になっておりますので、早めの案内にさせていただきます。

平成 30 年度私立短期大学図書館協議会全国研修会実施要項  
(私立短期大学図書館協議会本部及び北海道地区協議会合同開催)

1 研修会テーマ

『どこでも誰でもできる図書館利用教育』

2 研修会の趣旨

大学での図書館利用教育は、日本図書館協会の「図書館利用教育ガイドライン-大学図書館版-」が 1998 年に正式公表されて以来、急速に浸透し、教育効果の検証も行われ、情報化社会において必要不可欠な図書館活動として定着しております。しかし、図書館利用教育の先駆けにもかかわらず小規模館が多い短大図書館におきましては、厳しい予算の関係上、利用教育に必要なデータベースツールの導入がままならず、消極的な姿勢も見られます。こうしたことから、小規模図書館でも実施できる有益な無料のデータベースツールを紹介するなど、新しい図書館利用教育のあり方を演習・事例報告などを通して、今後の方向性を皆様と考えたいと思います。

3 日程

平成 30 年 8 月 29 日 (水) ~ 30 日 (木) (一泊二日)

4 主会場

北海道武蔵女子短期大学(札幌)

住所: 〒001-0022 札幌市北区北 22 条西 13 丁目 TEL: 011-726-9705(図書館)

地下鉄南北線「北 24 条」駅から

・中央バス北桑園線(西 51 番)「南新川」下車 徒歩 1 分

・中央バス新川線(北 72 番)「北 24 条西 13 丁目」下車 徒歩 5 分

JR「札幌駅南口(旧札幌西武前)」から

・中央バス北桑園線(西 51 番)「北 22 条西 15 丁目」下車 徒歩 2 分

JR「八軒」駅から徒歩 15 分

5 参加費(会員館)

フル参加費 加盟館正会員一人 4,000 円 非会員 9,000 円  
(情報交換会費含む。半額補助あり)

※当日、情報交換会を欠席された場合は返金いたしませんので、ご承知下さい。

情報交換会不参加者費 加盟館正会員一人 2,000 円 非会員 7,000 円

6 プログラム内容

【1 日目】

13:00 開会

13:00~13:15 会長挨拶 会場校挨拶

13:15~14:45 基調講演

演題: 可能性を拡げる図書館活用支援

講師: 新谷良文氏(北広島市図書館計画担当参事・北広島市図書館長)

概要: 「どうしたら図書館を使ってもらえるか」という問いは、「どのような図書館であれば使ってもらえるか」という問いでもあります。利用教育を含む図書館活用支援の取組みは利用者の可能性を拡げるとともに図書館そのものの可能性を拡げます。近年の図書館トレンドの変容から、図書館の新たな可能性や、これからの図書館員に求められる資質を読み取っていきたいと思います。

15:00~16:20 事例報告

短大図書館における利用教育の取組み(2例各30分・質疑20分)

報告者①：堤 香苗氏(拓殖大学北海道短期大学図書館)

テーマ：教育課程との連携における図書館活動

概要：拓殖大学北海道短期大学では教育課程との連携により、図書館の利用促進を図っています。授業科目などでの図書館利用例と、図書館が行う利用者支援や利用教育の事例を紹介します。

報告者②：柳橋 望氏(北海道武蔵女子短期大学附属図書館)

テーマ：図書館のイメージアップ戦略から利用教育の取り組みまで

概要：高校時代に図書館を活用してこなかった利用者が6~7割を占める中、どうしたら図書館を身近な存在として利用してもらえるようになるか。これまでに取り組んできた図書館のイメージアップ戦略と利用教育の事例を紹介します。

16：30～17：20 北海道武蔵女子短期大学附属図書館見学会

18：00～ 情報交換会・名刺交換会(夕食を兼ね別会場)

## 【2日目】

9：00：開場

9：30～12：00：講義と演習(PC教室 50名可能) (講師：毛利和弘名誉会長)

テーマ：無料データベースを活用した図書館利用教育の展開

進め方と目的：各種無料データベースを活用したレファレンス問題を解く演習をPC教室で行った後、模範解答及び実際に利用指導を行うポイントを学びながら、データベースの活用法を理解してもらい、図書館現場の利用教育に役立ててもらいます。

12：00～13：00 昼食・休憩

13：10～14：40 広報グッズをつくろう(PC教室)

講師：徳田祐子氏：北海道武蔵女子短期大学附属図書館

テーマ：アイデアが生きる図書館グッズ作成術(個人持参USB使用)

概要：利用者に喜ばれる図書館グッズのアイデアや制作方法を紹介します。また、身近なもので手作りする方法として、Wordを活用したしおりのデータ作成実習を行います。一般的なパソコンの知識と技術があれば、どなたでも実践可能な内容です。

14：40～15：00 閉会式(会長挨拶)

15：00 閉会(アンケート回収)

## 7 定員

55名(幹事を含む)

※参加される方は、USB(2日目グッズ作成用)・名刺(情報交換会用)をご持参ください。

本研修会に関する連絡・問い合わせ先

聖徳大学川並弘昭記念図書館

林 浩次 / はやし こうじ

tel047-365-1111(3178) fax 047-365-4900

[libkou@seitoku.ac.jp](mailto:libkou@seitoku.ac.jp)